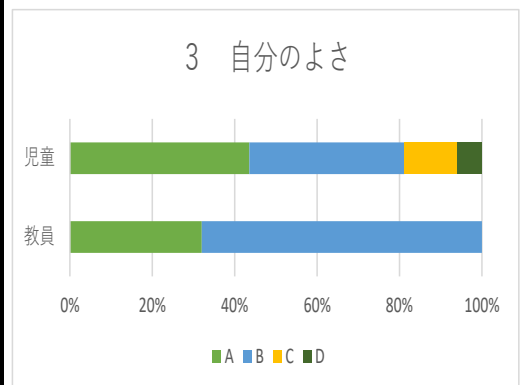
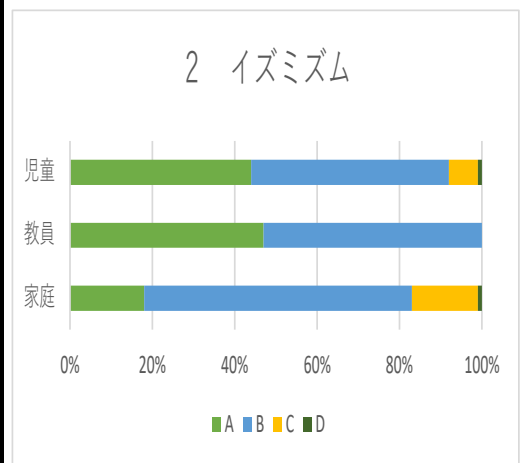
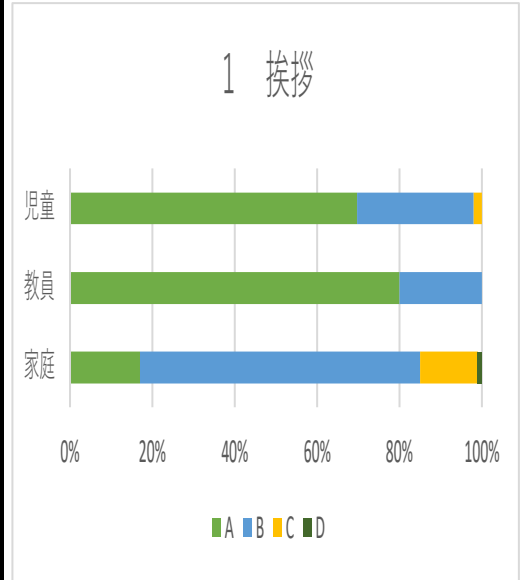
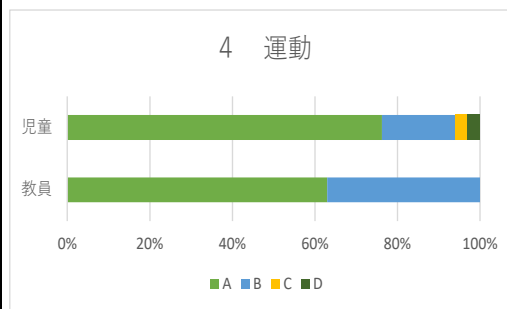


A 学校経営の方針・重点

1	【思いやる行動】	R4 年度末	R4 中間
	○児童 「気持ちを込めた挨拶をしていますか。」	3.7	3.7
	○委/ 重点目標「夢を育み、未来を切り拓く子供の育成～認め合い、主体的に考え、よりよく行動する～」は、本校の児童の実態を反映したのになっていますか。	3.8	3.6
	○委/ ○教育目標や重点目標の具現化を意識し、日常の教育活動（学級経営や校務分掌において）に取り組んでいますか。	3.6	3.4
	○家庭 ご家庭で、お子さまに気持ちのよい挨拶や言葉遣いを意識させていますか。	3.0	
2	【学び方の習得】		
	○児童 「イズミズムを守り、自分から進んで学習していますか。」	3.4	3.4
	○委/ 「児童にイズミズムを身に付けさせ自分の考えを進んで表現し、学び合いを充実させる指導を徹底していますか。」	3.5	3.3
	○家庭 ご家庭で、お子さまが自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えをしっかりと聞こうとしたりすることを心がけていますか。	3.2	
3	【自分のよさの自覚】		
	○児童 「あなたは自分のよさを知っていますか。」	3.2	3.2
	○児童 「あなたは、友だちに優しくしていますか。」	3.7	3.7
	○委/ 「一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や支援の内容・方法などの共通理解を図り、意図的・計画的な取組を実施していますか。」	3.3	3.5



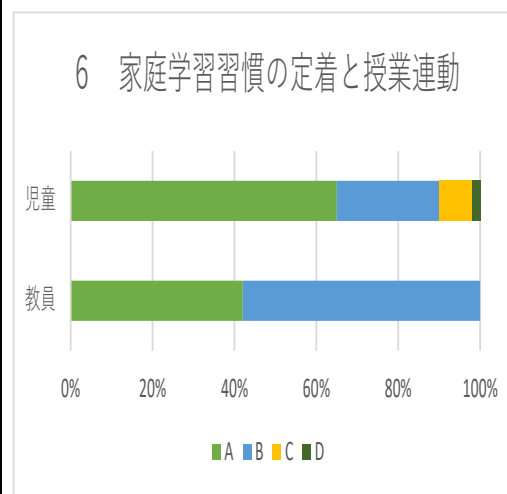
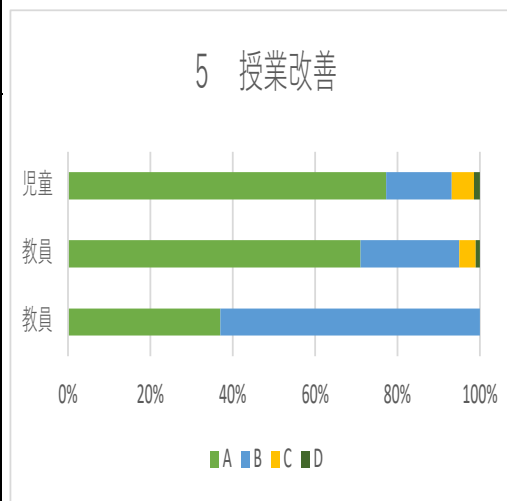
4	【運動に親しむ】	
	○児童 「あなたは、運動が楽しいですか。」	3.7 3.7
	○委/ 「児童が運動の楽しさを実感できる体育科の授業改善を進めていますか。」	3.6 3.4



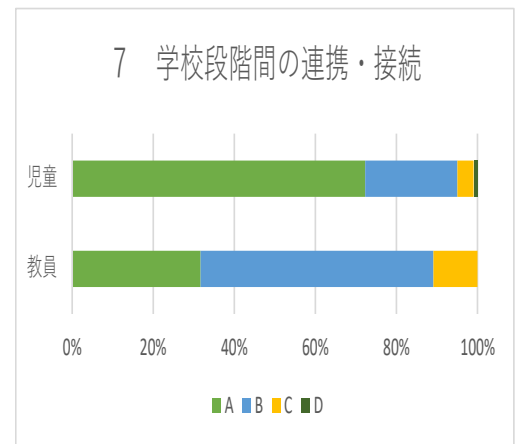
・「思いやる行動：挨拶」	児童回答	A:69%	B:28%	C:2%	D:1%
・「イズミズム」	児童回答	A:44%	B:48%	C:7%	D:1%
・「自分のよさの自覚」	児童回答	A:44%	B:38%	C:13%	D:6%
・「運動に親しむ」	児童回答	A:77%	B:18%	C:3%	D:3%

B 進んで考え共に学び合う子 社会で生きる力の育成について

1	【授業改善】	
	○児童 「学校の勉強はよくわかりますか。」	R4年度末: 3.6 R4中間: 3.6
	○委/ 「複数の目による定着確認を実施し、やりっ放しにすることなく確実な定着につなげていますか。」	3.4 3.5
	○委/ 「ICTを活用したわかる授業づくりを実践していますか。」	3.4 3.2
2	【家庭学習習慣の定着と授業連動】	
	○児童 「宿題や自主学習など、家庭学習に取り組んでいますか。」	3.5 3.6
	○委/ 「家庭と連携しながら家庭学習の充実を図っていますか。」	3.4 3.3
	○児童 「間違えた問題はできるまでやり直しをしていますか。」	3.5 3.5



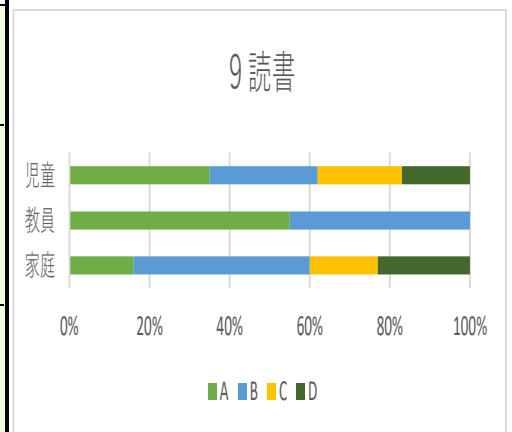
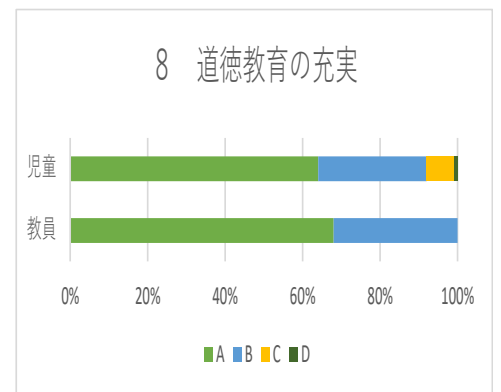
3	【地域教育資源・学校段階間の連携・接続】		
	○児童 「イズミズムを守り、進んで学習に取り組んでいますか。」	3.5	3.4
	○委/ 「幼稚園や保育所、中学校等、学校間の連携に努め、児童生徒が主体となる取組を実施していますか。」	3.2	3.4



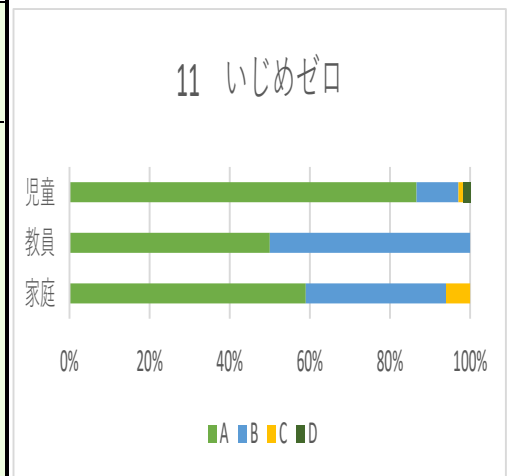
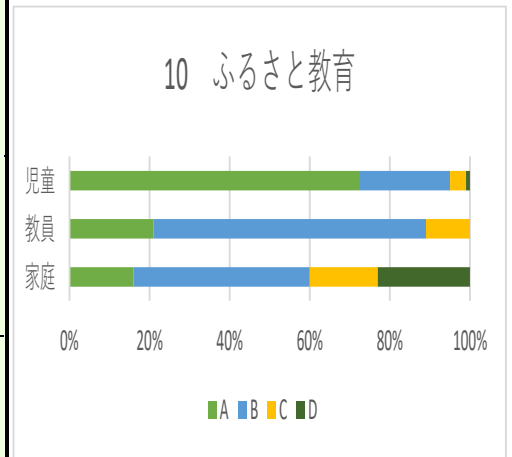
・「授業改善」	児童回答	A:77%	B:16%	C:5%	D:1%
・「家庭学習習慣の定着と授業連動」	児童回答	A:65%	B:25%	C:8%	D:2%
・「学校段階間の連携・接続」	児童回答	A:73%	B:23%	C:4%	D:1%

C 豊かな人間性の育成について

1	【道徳教育の充実】	R4 年度末	R4 中間
	○児童 「道徳の学習では、自分の考えをたくさん持てましたか。」	3.5	3.5
	○委/ 「道徳の授業を充実させ、児童に自分のよさや変容を実感させるよう努めていますか。」	3.7	3.2
2	【読書活動の充実】		
	○児童 「年間60冊(月5冊以上)をめざし読書をしていますか。」	2.8	2.9
	○委/ 「朝読書や児童会活動、ブックトークによる読み聞かせなど、様々な機会を通じて読書活動の充実を図っていますか。」	3.6	3.4
	○家庭 ご家庭で、お子さまは読書をしていますか。	2.3	



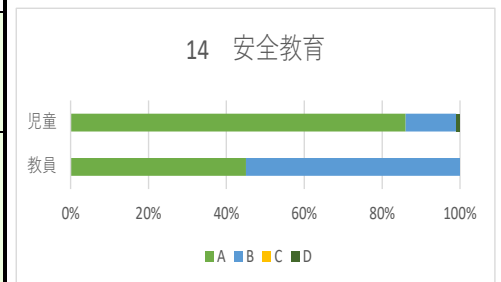
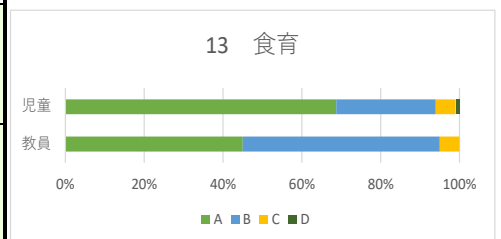
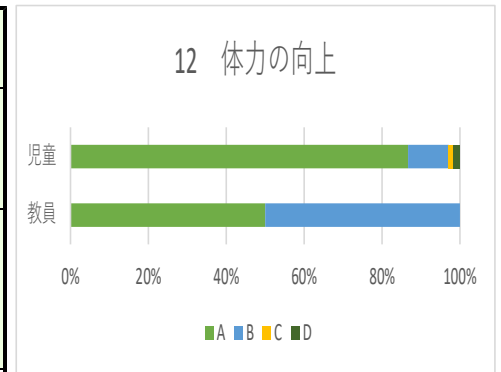
3	【ふるさと教育の充実】		
	○児童 「ふるさと（大麻、江別市、北海道）についての学習に進んで取り組んでいますか。」	3.7	3.7
	○委/ 「地域の素材や施設、人材を活用しながら地域の理解を深める教育活動の充実が図られていますか。」	3.1	3.1
	○家庭 ご家庭で、お子さまは読書をしていますか。	2.3	
4	【いじめゼロへの取組】		
	○児童「心がきずつくいじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか。」	3.8	3.8
	○委/ 「児童会活動、学級活動で意図的・計画的な取組を実施していますか。」	3.5	3.5
	○家庭 ご家庭で、いじめは絶対にいけないことであるということをお子さまと話し合っていますか。		



・「道徳」	児童回答	A:64%	B:28%	C: 7%	D: 1%
・「読書」	児童回答	A:35%	B:27%	C:21%	D: 7%
・「ふるさと」	児童回答	A:73%	B:23%	C: 4%	D: 1%
・「いじめゼロ」	児童回答	A:87%	B:10%	C: 1%	D: 2%

D 健やかな体の育成について

1	【体力・運動能力の向上】	R4 年度末	R4 中間
○児童	「体力テストで、自分の記録を伸ばすために努力をしましたか。」	3.6	3.6
○教員	「体力テストの結果分析をもとに、児童が運動の楽しさを実感できる体育科の授業改善を進めていますか。」	3.6	3.4
2	【食育】		
○児童	「給食は協力して準備し、マナーを守りましたか。」	3.6	3.7
○教員	「食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせるための指導の充実に努めていますか。」	3.4	3.5
3	【安全教育】		
○児童	「避難訓練や交通安全教室で、自分の身を守る学習をしっかりとできましたか。」	3.8	3.8
○教員	「多様な危機を想定した防災教育・防災訓練を行い、児童が自分の身を守る力を高めるため指導の充実に努めていますか。」	3.5	3.6



- ・「体力」 児童回答 A:68% B:25% C: 6% D: 1%
- ・「食育」 児童回答 A:68% B:25% C: 5% D: 1%
- ・「安全教育」 児童回答 A:86% B:13% C: 0% D: 1%



競争に勝つための練習をする・ 競争に勝つための練習をする・ 競争に勝つための練習をする
 競争に勝つための練習をする・ 競争に勝つための練習をする・ 競争に勝つための練習をする

【まとめ】 衛から、毆楸できること

(1) 「やさしさいっぱい大麻泉の子」 ～思いやり助け合える良さが泉の子の強みとなるように～

やさしさを行動で 「ありがとうございます。おねがいします。手伝うよ。等」

親しき仲こそ。礼儀、モラル、マナー。全校での取組。言葉遣い。来校者への態度。

合言葉は「笑顔で迎える15の春」、家庭でも・・・。

(2) 「イズミズム」 仲間からの信頼を得て、学力

向上につながる学び方。自己評価。教師からの評価。

①～⑨の課題の明確化し、学習規律を継続。

教師と一緒に学級の状況を振り返る機会をもち、

児童に対して効果的な教育活動～基本的学習・生活

習慣の定着目指し持続的に推進。家庭でも・・・。



(3) 「自分のよさ」 全教育活動の中で、子供たちの良さを見つめ、伝える。

がんばったこと、できるようになったことを実感できるように。

課題克服のためのアドバイスと励ましを全教職員で。

見てくれている安心感。専門的な知見を広げる。居場所づくり・自己肯定感の醸成。

※QU活用・アンケート活用・特設教育相談

(4) 「運動」

新体カテストの結果を分析。実態把握 → 授業改善へ（準備体操に取り入れる、

日常的に楽しく取り組める場の設定 等）。全校的な取組。

※新体カテスト「歴代記録」【見える化】 → 自己ベスト更新への目標となる。

※どさんこ元気アップチャレンジ。

(5) 「授業改善」

正しい書き方・きれいな字～授業を振り返り、家庭学習につなげるための確実なノート指導。

意図的計画的なICT活用。GIGAスクール構想。単元全体をデザインする意識。

個別最適化。欠席時等の学びの保障。 ※書く活動等を通して読解力を。

国語記述問題強化のためのいくつかの条件を設定した作文（文字数・キーワード・例文の引用）

※主体的・対話的で深い学びの場の設定を通して、表現力を。

◎NRT、チャレンジテスト、単元テスト（学年平均85%）…正答率の低い問題をリトライ。

「やりっ放し」にしない。根拠に基づく**全校的な取組の継続**。**協働のための保護者への周知**。

(6) 「家庭学習」学校・学年からの啓発。9年間積み重ねられる取組。

良い学習習慣を形成。**協働のための保護者への周知**。

(例) 家庭学習ノート紹介。家庭学習内容例紹介。

(例) 学年からの啓発。「家庭学習のすすめ ～に取り組んでみよう。」 授業と連動。

(7) 「学校段階間の連携・接続：」

全教職員・家庭・地域で児童を育てる意識の醸成

※**小中一貫教育・特別支援教育**

※個別の支援計画・指導計画の活用のためのコーディネート

※スタートカリキュラム：幼保こ小連携。

(8) 「**道徳教育の充実**」

全教育活動との関連。**規範意識・思いやり・豊かな心を育み、よりよい生き方を考えるための活動を充実させる**。

※**保護者・地域にも授業公開を通して研修実践の発信、共通理解を得る**。

(9) 「**読書**」

一人一人の感性・創造性を豊かにする文化活動→言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付ける活動

※ボランティア等協力を得て、**重点を継続**。

※すき間時間での読書・家庭への啓発

(10) 「**ふるさと教育**」

学校経営への参画・地域の教育力を活用する視点を広げる。支援の促進。

※**各種通信・HPでの発信と共有**

(11) 「いじめゼロ」

「いじめ根絶」に向けた取組。いじめは何があっても許さない指導。

「見える化」「意識化」。 + 毎日の日常的指導

※いじめ・不登校の未然防止を全員で継続。スピード感を持って対応。

(12) 「体力の向上」

全校的な取組の確認と継続。

※新体力テスト「記録」【見える化】 → 自己ベスト更新への目標となる。

※どさんこ元気アップチャレンジ。

(13) 「食育」

子供たちに対して効果的な教育活動を持続的に推進→

食への知識や、給食は協力して準備し、マナーを守る等、望ましい食習慣を身に付ける

指導の充実

(14) 「安全教育」

※交通安全（自転車・歩行等）・不審者対策…継続的で組織的な対応。

(15) 「感染症対策」

※情勢による実態に即したガイドラインを遂行。家庭・地域と協力し組織的な対応。

< 改善プラン 新年度に向けて >

・よさを伝え、伸ばす指導 → グランドデザイン：目標と指導と評価の一体化

・中間評価において C or D 回答が多かった項目の改善

→ C, D を合わせて 5%以下に。またいじめゼロAB100%に。

・ 「思いやる行動」「学び方の習得」「運動に親しむ」「道徳教育の充実」

・ 「ふるさと教育」「いじめゼロへの取組」「体力・運動能力の向上」

→中間評価より自己ベスト更新

▶自分事としてとらえ、自分の役割（分掌）から発信できることを考察

→全員で目指す姿を明確にした改善プラン（誰が・何を・どうやって・どのレベルまで：具体策）を完遂。